

## 大腸内視鏡検査前処置における腸管洗浄効果の比較

—患者の負担軽減を目指して—

きくち胃腸科内科クリニック

内視鏡技師 ○徳永 由美子 桐原 洋子

看護師 菊池 エリ 松尾 麻美 中西 千代美

医師 菊池 陽介 武市 昌郎

(はじめに)

大腸内視鏡検査(以下 TCS)を受けるにあたり、患者の苦痛の訴えとして最も多いのは洗浄液の飲用量の多さである。今回、低用量 PEG 製剤モビプレップ®(以下モビ®)を用い、従来の方法であるクエン酸マグネシウム(マグコロール®P 以下マグ®P)と比較した。また、さらに患者のコストの軽減も目指し検査食を用いない方法も同時に比較し患者の負担の軽減を図った。

(方法)

期間:H25.7/1~10/23

対象:TCS を受ける患者 150 名

- A) 検査食なし/モビ®1L+水 500ml:50 名
- B) 検査食あり/モビ®1L+水 500ml:50 名
- C) 検査食あり/マグ®P1800ml(従来の方法):50 名

上記対象患者へ洗浄液に対する印象や許容性等をアンケート調査、内視鏡施行医による腸管内洗浄の評価、初回排便時間や排便清浄時間等、各対象群の比較

(結果)

・アンケート結果:TCS を受けるにあたり苦痛になることはあるか?の回答として特になしが多く次いで洗浄液を飲むこと(量の多さ)であった。検査食の必要性についてはいいえ 60%で半数以上の患者が必要性を感じていない。理由として好きなものを食べたい、自分で準備できるおかゆが苦手等の意見が多かった。

下剤の味)飲みやすいA群 8% B群 14%と少数でやや飲みにくいと回答したのはA,B群共に 40%と最も多くC群では飲みやすいが 50%と半数を占めていた。

下剤の量)A群なんとか飲めた 62%で飲みきれなかったという意見はなかった。

マグ®P 飲用経験者にはどちらが良いか質問した。マグ®P が良い 42 名モビ®が良い 44 名どちらでもよい各 7 名であった。

- ・初回排便時間:平均 A 群 57.9 分 B 群 59.7 分 C 群 56.6 分
- ・排便清浄時間:平均 A 群 122.6 分 B 群 127.1 分 C 群 125.1 分
- ・腸管内洗浄評価:優⑤/良④/可③/不良②/不可①

A 群⑤44%④40%③12%②4%①0%

B 群⑤42%④46%③12%②0%①0%

C群⑤34%④50%③12%②4%①0%

(考察)

検査食は患者にとって便利なのではないかと考えていたが、実際の意見としては必要性が低いことが分かった。

モビ®はマグ®Pに比べナトリウムの含有量が多い。そのため味が濃く塩辛いなどの意見が多かった。しかし、マグ®Pに比べ飲用量が少ないため苦痛の訴えとして最も多かった飲用量の多さを解消できることでモビ®を選択する患者がやや多かったと考える。

洗浄評価は良好であったがマグ®Pに比べモビ®は腸管内に洗浄液が残っている場合が多いとの意見があり今後改善する必要がある。

(結論)

腸管洗浄効果はA群においてB,C群と同等の結果が得られた。同時に患者の負担を軽減でき有効な方法であるといえる。

連絡先:〒835-0024 福岡県みやま市瀬高町下庄 2175 TEL:0944-63-2223